

半姉リリーノーブルは桜花賞 3 着、オウクス 2 着

53

モーリス 2/28 生 牡 芦

ピュアチャプレットの23

栗東・藤岡 健一 厩舎予定

400 馬

6/3 現在

体 高 153.0 cm

胸 囲 176.0 cm

管 囲 20.6 cm

7/3 現在

馬体重 449 kg

6/3から (+25)

blood News 社台グループオーナーズ所属だったピュアチャプレットは3歳デビューと遅咲きでしたが、短距離ダートレースの差し馬で、いつも上がり3F35秒台と芝並みの強烈な末脚を武器に3勝をあげました。本馬はそのラストクロップになります。母の兄弟には、イースター（父エルコンドルパサー）やデウスウルト（父キングカメハメハ）、パティスティニー（父キングカメハメハ）などの重賞活躍馬がおり、さらに本馬の姉にはオウクス-G1でアーモンドアイに0秒2差まで詰め寄ったリリーノーブル（父ルーラーシップ）がいる底力ある良血です。

父モーリスの初年度産駒にはジャックドルやジェラルディーナ、ピクシーナイトなどのG1ウイナーがおり、2024年の2歳世代を見れば、6月で4勝をあげています。

牝系は芝・ダートどちらの活躍馬も輩出していることから、本馬の可能性も広がりそうです。

ラスト1口 2 番仔。近親ミッキーアイルは最優秀短距離馬

61

レイデオロ 2/6 生 メス 鹿

スターリーステージの23

栗東・牧浦 充徳 厩舎予定

280 馬

6/3 現在

体 高 155.0 cm

胸 囲 168.0 cm

管 囲 19.8 cm

7/3 現在

馬体重 427 kg

6/3から (+36)

blood News 社台グループオーナーズに所属していた母スターリーステージは、NHKマイルC-G1とマイルチャンピオンシップ-G1を優勝して2016年のJRA最優秀短距離馬に選ばれたミッキーアイルを兄に持つ血統で、自在なレースぶり芝1200m～1600m戦で3勝をあげました。これからの活躍も期待されるレイデオロを父に迎えた2番仔の本馬には、6歳まで大きな怪我もなく走り切った母のように、スピードを活かしたレーススタイルで長く現役生活を送る姿をイメージしています。

また、ディーブインバクト牝馬にキングカメハメハ系種牡馬の配合は、すでにロードカナロア（代表産駒ブレイディヴェーグ）とルーラーシップ（代表産駒キセキ）で成功しています。本馬の父レイデオロとのカップリングにおいても、大物輩出があって不思議はありません。

祖母シーズオールエルティッシュは北米重賞勝ち

60

レイデオロ 4/19 生 牡 鹿

エルノルテの23

栗東・斉藤 崇史 厩舎予定

400 馬

6/3 現在

体 高 149.0 cm

胸 囲 165.5 cm

管 囲 19.8 cm

7/3 現在

馬体重 381 kg

6/3から (+24)

blood News 社台グループオーナーズ馴染みの血統です。母エルノルテは2歳6月にデビュー勝ちを飾ると、芝1200mから1400m戦を中心にコンスタントに出走を重ねて、6歳2月まで大きな怪我をすることなく、競走生活を全うしてくれました。さらに、母系からは、母の妹エルビッシュとその仔であるトルキンなど、芝の短めの距離で堅実な活躍をみせるスピード能力に長けた馬が輩出されています。

レイデオロの産駒は、この2023年生まれが3世代目になります。ファーストクロップである現3歳馬をみると、ここまで中距離路線の活躍が目立っています。サンライズアースがダービーで4着、トロヴァトーレが古馬を相手に3勝目をマーク、ミナデオロが白百合S-L優勝と、今秋の飛躍が期待される馬も多くなります。

ラスト1口 半兄コスタノヴァは特別勝ちを含む4 勝

65

マクフィ 4/25 生 牡 栗

カラフルブラッサムの23

栗東・高柳 大輔 厩舎予定

400 馬

6/3 現在

体 高 150.0 cm

胸 囲 167.0 cm

管 囲 19.8 cm

7/3 現在

馬体重 403 kg

6/3から (+37)

blood News 本馬と同じく、社台グループオーナーズに所属していたカラフルブラッサムの競走成績は、馬主孝行を絵に描いたものでした。現役期限一杯まで23走して、9着以下が一度もないという安定感を誇り、8000万円近くの賞金を獲得しています。母としても、これまでデビューした産駒はすべて勝ち上がっています。そのうち、リレーションシップとコスタノヴァがそれぞれJRAで5勝を挙げており、それぞれ障害、平地のオープンクラスで今後の活躍が期待されています。

父マクフィの日本での産駒の傾向をみると、芝よりもダートの方が勝ち鞍が多く、ヴァルツァーシャルが今年のマーチS-G3（ダート1800m）を勝ったのは記憶に新しいところです。芝になると短距離指向が目につき、オールアットワンスはアイビスサマーダッシュ-G3（芝1000m）を制しています。

母が芝中距離を主戦場にしていたことと、兄たちの活躍の場を考慮すると、本馬は距離の融通が利いて様々なレース条件で楽しませてくれるかもしれません。

販売中の1歳馬

中央競馬オーナーズ

2024 YEARLINGS



REAL TIME

販売状況

社台ファーム

西

ラスト1口 2 番仔。母はマーメイド S(G3) 勝ち。祖母ラアラは北米 G1 勝ち馬

19

ブリックスアンドモルタル 3/5 生 メス 鹿

サラスの23

栗東・西村 真幸 厩舎予定

350 馬

6/3 現在

体 高 149.0 cm

胸 囲 168.0 cm

管 囲 19.4 cm

7/3 現在

馬体重 400 kg

6/3から (+18)

blood News 祖母ラアラは2歳の秋、僅差3着だったBCジュヴェナイルフリーズターフ-G1では1番人気に推されたほどの実力馬で、次走ハリウッドスターレットS-G1を快勝して見事G1馬の仲間入りを果たしました。繁殖牝馬としても優秀で、本馬の母サラスとシャムロックヒルの2頭が、ともに阪神・マーメイドS-G3で姉妹制覇を成し遂げています。

オーナーズ共有馬だった母サラスは、500kgを超える雄大な馬体ながら豪快な末脚が持ち味で、マーメイドSでも最後方から大外一気の差し切りでした。その母に米国年度代表馬の父を配合された、期待がかかる2番仔です。馬体重も6月から18kgも増やしていて、これからの成長もおおいに見込めそうです。

ノーザンファーム

東

ラスト2口 半兄ヴェイルネビュラはジュニアカップ勝ち

33

ロードカナロア 2/20 生 メス 鹿

リングネブラの23

美浦・黒岩 陽一 厩舎予定

400 馬

6/3 現在

体 高 152.0 cm

胸 囲 171.0 cm

管 囲 20.8 cm

7/3 現在

馬体重 435 kg

6/3から (+17)

blood News 母は3勝を挙げ、本馬の半兄メイブルリッジはオープン勝ちを含む5勝を挙げており、また全兄であるヴェイルネビュラは3歳1月に中山・ジュニアカップ-Lを勝利し、6歳6月には東京ジャンプS-J-G3で3着に入るなど息の長い活躍を見せています。

祖母ユアンミーは米G3勝ちを含む北米5勝の実績があります。産駒のウェスターランドはアンタレスS勝ち含む6勝、ミクロコスモスは4勝を挙げており、活躍馬を輩出しています。

また、父ロードカナロアと母父ハーツクライの相性は良く、京成杯A H-G3を日本記録で優勝したトロワゼトワルや、マイル重賞3勝のケイデンスコールがおり、実績馬が多い配合となっています。本馬には父譲りのスピードを生かし、クラシック戦線からその先の息の長い活躍が期待されます。

お申込み先

ホームページ
24 時間
受付

OWNER'S AREA
【1 歳】販売馬購入お申込み

お電話
月・水・金
9:30-17:00
(火・土日・祝休)

社台ファーム 03-5572-6850
販売馬
ノーザンファーム 03-5572-6840
販売馬

右の事項を
お知らせください

1. 共有者番号（数字 5ヶタ）・お名前
2. 販売馬番号・馬名
3. 希望口数（1頭につき最大 4口まで）
4. 値引特典（特別割引額）の有無

お支払い

申込日	初回自動振替	分割回数
～ 7/31	9/6	全 10 回
8/1～ 31	10/7	全 9 回

- 全10口 ● 先着順で各馬とも満口になり次第締め切りとなります
- 予定厩舎は事情により、入厩までに変更となる場合があります
- 金額には消費税が含まれています

母は特別勝ち含む 4 勝

38

ドレフォン

2/4 生 メス 鹿

サンティール の23

美浦・鹿戸 雄一 厩舎予定

360 万

6/3 現在

体 高 159.5 cm

胸 囲 170.5 cm

管 囲 20.6 cm

7/3 現在

馬体重 466 kg

6/3から (+37)



 母は2歳12月に初勝利を挙げると、4歳5月にパールS(芝1800m)を優勝し、オープンクラス入りを果たして、5歳まで堅実な走りを見せました。

祖母のサンヴィクトワールはエルフィンS勝ち含む2勝を挙げ、産駒には愛知杯3着のサンソヴールがいます。本馬の近親であるクールミラポー（父ドレフォン）はきさらぎ賞3着、ダートコースでのオープンクラス入りを果たすなど適性の広さや、本牝系との相性の良さをうかがうことができます。

父ドレフォンはダート短距離での実績馬を多く輩出している一方、芝・ダート・距離を問わない産駒も多数おり、オールラウンドな舞台で通用する力を産駒に伝えています。

満口近し

初仔、母は 3 勝

39

ドレフォン

2/16 生 メス 黒鹿

テルモードーサ の23

美浦・武井 亮 厩舎予定

300 万

6/3 現在

体 高 156.0 cm

胸 囲 172.5 cm

管 囲 20.8 cm

7/3 現在

馬体重 467 kg

6/3から (+24)



 母は2歳11月に初勝利を挙げたのち、3歳から4歳時にダート1200m戦で2連勝し、6歳2月までコンスタントに使われ、堅実な走りを見せました。本馬は初仔となります。

近親には日本ダービーを制したロジユニヴァース、安田記念2連覇のソングライン、秋華賞勝ち馬のディアドラなどがおり、様々なカテゴリーで活躍馬を多数輩出しているファミリーの出身となります。

父ドレフォンは2021年ファーストシーズンサイアーランキングに圧倒的な差でトップに立ったように、産駒には2歳時からの活躍が見込まれます。本馬は豊富な筋肉を備えており、ガッシリとした馬体を有しています。母のように早い時期からデビューし、息の長い活躍が期待されます。

近親カンパニーは天皇賞（秋）マイルCS 勝ち

40

サートウルナーリア

3/21 生 牡 鹿

ビバリーヒルズ の23

美浦・辻 哲英 厩舎予定

400 万

6/3 現在

体 高 148.5 cm

胸 囲 167.0 cm

管 囲 19.9 cm

7/3 現在

馬体重 415 kg

6/3から (+26)



 母ビバリーヒルズは豪州のリーディングサイヤー、スニツェルの仔として、特別勝ちを含む2勝を挙げています。

その産駒のうち3頭が中央競馬で勝ち上がり、堅実な活躍をみせています。三代母クラフティワイフ以来、この一族からはカンパニー、トーセンジョーダンというG1馬をはじめとする、息の長い活躍をみせた活躍馬が輩出されています。

2024セレクトセールで高評価を受けた新進気鋭の種牡馬である父サートウルナーリアを迎えて、この一族を代表する看板馬となるような活躍を期待しています。

母は紫苑 S を含む 3 勝

43

ブリックスアンドモルタル

3/8 生 メス 黒鹿

レーヴデトワール の23

美浦・中舘 英二 厩舎予定

300 万

6/3 現在

体 高 151.0 cm

胸 囲 164.5 cm

管 囲 19.5 cm

7/3 現在

馬体重 425 kg

6/3から (+36)



 母レーヴデトワールは、レーヴディソール、レーヴミストラル、アプレザンレーヴを輩出した名繁殖牝馬であるレーヴドスカーの仔として、オープン勝ち（紫苑S）を含む、3勝を挙げています。

その産駒では初仔のレーヴドゥラブレリが2勝を挙げて、繁殖牝馬としての力を示しています。その後の産駒は、馬格がともなわずに結果を出せていませんが、十分な馬格のある本馬であれば、この血統の力を存分に発揮できるはずです。低重心で安定したフォームの走りをしており、母同様に息の長い活躍を期待しています。

東

西

満口近し

半姉エピプランセスは特別勝ち含む 3 勝

45

ハービンジャー

4/6 生 メス 黒鹿

サングレアル の23

美浦・青木 孝文 厩舎予定

300 万

6/3 現在

体 高 144.0 cm

胸 囲 161.0 cm

管 囲 19.2 cm

7/3 現在

馬体重 373 kg

6/3から (+30)



 母サングレアルは、ブエナビスタをはじめとして数多くの活躍馬を輩出した名繁殖であるピワハイジの仔として、フローラS-G2を含む2勝を挙げた活躍馬です。フローラSでの勝ち方は圧巻のひと言で、その潜在能力の高さを満天下に示しました。その産駒では、エピプランセスが芝中距離を舞台に活躍して、3勝を挙げています。

父ハービンジャーは、チェルヴィニア（2024オックス-G1）、ナミュール（2023マイルCS-G1）など牝馬の活躍が特に目立ちます。この勢いを追い風に、ピワハイジ一族の名声をさらに高めるような活躍を期待します。

満口近し

近親ラッキーライラックは G1-4 勝

46

サトノダイヤモンド

2/15 生 牡 鹿

ライラックローズ の23

美浦・矢嶋 大樹 厩舎予定

300 万

6/3 現在

体 高 159.5 cm

胸 囲 172.0 cm

管 囲 20.6 cm

7/3 現在

馬体重 477 kg

6/3から (+34)



 本馬の祖母ライラックスアンドレースは、JRA賞最優秀2歳牝馬に輝き、大阪杯、エリザベス女王杯-G1（2回）、阪神ジュベナイルフィリーズ-G1などG1 4勝を挙げたラッキーライラックや、特別勝ち含む2勝を挙げているシリングバルガリス、3勝を挙げたライルなど活躍馬を多数輩出しています。母ライラックローズは祖母の初仔で、日本で出走した後、オーストラリアで繁殖生活に入り、その後日本に移動しました。本馬は日本で産まれた最初の産駒となります。

本馬は477kg(2024年7月現在)と雄大な馬格を有しており、後脚には輪郭の浮き上がった張りのある筋肉がみなぎっています。放牧地では父に似てエネルギーロスの少ない走法を見せており、中距離以上のスタミナ勝負が求められる舞台でこそ真価が発揮されそうです。

母は米 G2 勝ち

47

サトノダイヤモンド

4/24 生 メス 鹿

オープンウォーター の23

美浦・千葉 直人 厩舎予定

240 万

6/3 現在

体 高 150.5 cm

胸 囲 160.5 cm

管 囲 20.0 cm

7/3 現在

馬体重 387 kg

6/3から (+48)



 本馬の母オープンウォーターは米G2をはじめ3勝を挙げ、芝1800mで行われたデルマーオックス-G1に3着に入るなど活躍しました。その産駒には半姉ローカスが米リステッド勝ち含む2勝、米G3 3 着、半兄サザンディストリクトは米7勝を挙げ、米G2 4 着の成績を残しています。また曾祖母フランダースはBCジュベナイルフィリーズ-G1に優勝し、米2歳牝馬チャンピオンに輝きました。その産駒に米3歳牝馬チャンピオンのサーフサイドや種牡馬バトルプランを輩出しており、活力のある系統です。

馬体に目を移すと、父を彷彿とさせる伸びやかな馬体が映し出すシルエットが目に残ります。本馬は遅生まれのため、これからの成長が楽しみです。感情のオンオフをしっかり使い分けられる気性と思われ、距離の融通は利くとみており、中長距離に適性がありそうです。

半姉デニムアンドルビーはジャパンC 2 着

52

キズナ

3/13 生 メス 黒鹿

ベネンシアドール の23

栗東・石坂 公一 厩舎予定

450 万

6/3 現在

体 高 155.5 cm

胸 囲 169.0 cm

管 囲 19.5 cm

7/3 現在

馬体重 428 kg

6/3から (+23)



 フェアリードール牝系の母ベネンシアドールはデビューせずに繁殖入りとなりましたが、繁殖馬として優秀な成績をおさめています。半姉デニムアンドルビー（父ディーブインパクト）は最後の直線で豪快に前に飲み込むレーススタイルで重賞を2勝し、ジャパンC-G1と宝塚記念-G1で2着の好走もありました。半兄ダノンギャラクシー（父ディーブインパクト）は血統も評価されて、セレクトセールで2億9000万円の高値をつけています。

父キズナは2023年にソングラインが安田記念-G1連覇を達成してJRA賞を受賞し、2024年6月時点ではチャンピオンサイアーの地位にいます。

母のラストクロップになる本馬には、兄姉同様にクラシックディスタンスでの活躍が望まれます。